

# 地域における女性のつながりサポート事業【愛知県北名古屋市】

## 地域の実情と課題

当市のDV相談件数はコロナ禍以前に比べ増加しており、何らかの支援が必要と考えられる。平成28年に実施した男女共同参画意識調査では、「DVを受けた際、誰かに相談したか。」という問いに対して相談できなかった回答が3割いた。また、相談した回答者の相談先で多かった相手は家族や友人であることから、身近な存在による支援や寄り添いが非常に重要であるとともに、地域において気軽に相談できるスポットを設けることが非常に有効であると考ええる。

## 事業の特徴

### ※相談事業※

対面相談だけでなく、オンライン(zoom等)でも対応し、いつでも気軽に相談できる窓口体制を整えた。また、相談へのハードルを下げ、イベントにて相談場所を設置した。

### ※生理用品の配布※

相談場所の啓発を目的にチラシと共に生理用品を1人1P配布した。

### ※相談育成研修※

地域での相談事業を実施できる人材を増やし、相談支援に携わるピアサポーターを育成する研修を行った。

## 事業の効果

### ※相談事業※

相談実施後のアンケートにて、相談して「とても良かった」という回答が95.7%であった。その中で「前向きな気持ちになった」が87%、「聞いてもらえて嬉しいと感じ、気持ちが軽くなった」が73.8%といずれも7割以上いた。SNSでの告知、団体が女性支援での認知度があることから、市外・県外からの利用者が半数以上を上回った。その理由として、遠方で相談した方が情報漏洩する心配がなく安心であるということが伺えた。

### ※生理用品配布※

配布目的で来られる方は少なく、言い出しにくさを軽減するためチケット付きチラシを作成したが、使用されることも少なかった。場所によって配布数に差があったため、配布が少ないところから流用した。

### ※相談育成研修※

「今後も相談員として活動に参加したい」という割合は94.4%であった。受講者は女性支援に対する思いが強くなり、今後の活動に役立つ研修となった。

## 目的・目標

### ※目的※

コロナ禍で増加している孤独・孤立で不安を抱える女性を支援するため市内で活動する市民団体に相談事業を委託し、地域の女性の手による身近な相談窓口の設置及び運営を行う。

また、コロナ禍における喫緊の課題である「生理の貧困」の該当者へ生理用品の配布を行い、チラシと共に相談窓口へ案内し自立に向けた問題の根本的解決を目指す。

### ※目標及び達成度※

相談実施後アンケートにて、相談して「とても良かった」「良かった」という回答が95.7%。その中で「前向きな気持ちになった」が87%、「聞いてもらえて嬉しいと感じ、気持ちが軽くなった」が73.8%。

⇒7割以上いたため目標達成。

相談員研修後アンケートにて、「今後も相談員として活動に参加したい」という割合は94.4%であった。

⇒7割以上いたため目標達成。

## 連携団体

特定非営利活動法人地域福祉サポートおれんじの輪、まあいごえん～親子の笑顔を育み隊～、NPO法人オフィス・マハロ、愛知県、市施設管理課

## 今後の課題

### ※相談事業※

・相談することへのハードルがあり、相談件数は多くはなかった。相談事業をもっと拡大するためには市内の女性対象のお店にチラシ設置や事業内容の説明をし相談に繋げて行くことも必要。

### ※生理用品の配布※

・生理用品の配布は全体的に少なく、施設等によって差があった。配布が少なかった理由として、生理用品だけ受け取りに行くことに抵抗があるように感じる。余剰分は、配布が多くあった施設やひとり親家庭へ直接配布するなどして対応する。

### ※相談員育成研修※

1回の研修では、相談スキルが身につかず自信に繋がりにくいため、地域で身近に相談できる人として活躍してもらえるような仕組みを作り、相談スキルを高めてもらう必要がある。

# 事業の概要

## ※相談事業※

- 相談場所は市内を東地区・西地区の2カ所に分けて設置。
- 受付方法: 電話、QRコード(大人は相談フォーム、子どもはLINE)
- 相談方法: 対面とオンライン(ZOOM等)
- 相談日時: 西地区は毎月第2火曜日 午前10時～午後3時(予約制)  
東地区は毎月第1月曜日 午前10時～午後1時。
- 相談対象: 西地区は主に女子中高生等若年層。東地区は主に子育て中の母親。



## ○イベント相談

- サードプレイスカフェ(西地区・東地区)と暮らしツクルLABOにて実施。
- サードプレイスカフェ西地区  
開催日: 11/12日(金)、12/11(土)、1/14(金)、2/19(土)  
開催時間: 金曜日は午後3時～午後7時、土曜日は午前10時～午後3時  
内容: 生理用品の配布、お菓子や衛生用品の配布、Wi-Fi・学習スペース提供など
- サードプレイスカフェ東地区  
開催日: 10/22、11/19、12/17、1/21(全て金曜日)  
開催時間: 午前10時30分～正午  
内容: 生理用品配布、簡易相談、子育てコンシェルジュによる相談
- 暮らしツクルLABO  
開催日: 10/30(土)、11/30(火)、1/30(日) 開催時間: 午前10時～午後3時。  
内容: 気軽に参加できる交流会、イベント、ミニ講座など



## ※生理用品の配布※

- 相談場所の啓発を目的にチラシと共に生理用品を配布。
- 受け取り方法: 引換券(チラシに有り)、窓口POP、市HP画面又は団体SNS画面提示のいずれか。
- 配布数: 1人1P
- 配布場所: 市役所、児童館、市内公共施設、市内小中学校(保健室と女子トイレの個室)、委託団体関係施設、フードバンク
- 配布数: 全1,000P(昼用、1P20個入り)
- ※SDGsに配慮して、生理用品による廃棄物の削減に着目し、「布ナフキンの作り方」チラシを作成した。
- 市内小学校(16校)用には見本を作成した。



## ※相談育成研修※

- 地域での相談事業を実施できる人材を増やし、相談支援に携わるピアサポーターを育成する研修
- 研修日時: 11/2(火)午前9時～12時
- 受講者数: 18名
- 講師: NPO法人オフィス・マハロ 吉岡 みゆき 氏
- 内容: 相談の基本(共感と傾聴)、コロナ禍で女性を取り巻く環境について、地域連携について

